



幸せ誓い結婚の森で植樹

令和4年度 婚姻者に対する記念植樹式

晴 天に恵まれた4月16日、婚姻者に対する記念植樹式が、追分地区にある長者の原「結婚の森」で行われました。

この植樹式は、令和3年度中に婚姻の届出をした村内在住の9組の夫婦のうち、希望した6組が参加しました。

植樹には、寒さに強いオオヤマザクラが用意され、参加した夫婦はお互いに協力し合い、幸せを誓って植樹を行いました。この日は、村議会議員など、およそ20人が出席し新婚さんの植樹をサポートするとともに、二人の門出を祝福していました。

平成13年度から行われている記念植樹の桜は、これまでに165本になりました。結婚の森には、この他にも植えられたオオヤマザクラなどを含め、約800本の桜の木が植えられています。「村の木」である桜の木々が織りなす美しい光景が、毎年広がることが期待されています。



桜を固定する支柱を打ち込む

植樹は私たちにとっていい記念になり、楽しかったです。(妻・百合子さんは滋賀県出身なので、昭和村の景色や空気が新鮮です。これから二人で頑張っていきたいです。)



村上祐司さん・百合子さん(三ツ谷)

私たちが参加しました



2 1



5 4



3



7 6



- 1 記念植樹に参加した新婚の皆さん
- 2 二人の名前を書いた木製プレートをつけて完成
- 3 晴天のもと行われた植樹
- 4 新婚さんに村長から記念品を贈呈
- 5 7 桜に掲げる木製プレートを思い思いに手づくり
- 6 植樹を終えて笑顔で一息



桜の木を支柱に丁寧にくりつける

今日は楽しく植樹することができ、私たち二人にとってよい記念になりました。今日植えた桜の木がだんだんと根を下ろしていくように、私たちも地に足をつけて二人で頑張っていきたいです。



真下雄司さん・しのぶさん(森下上)